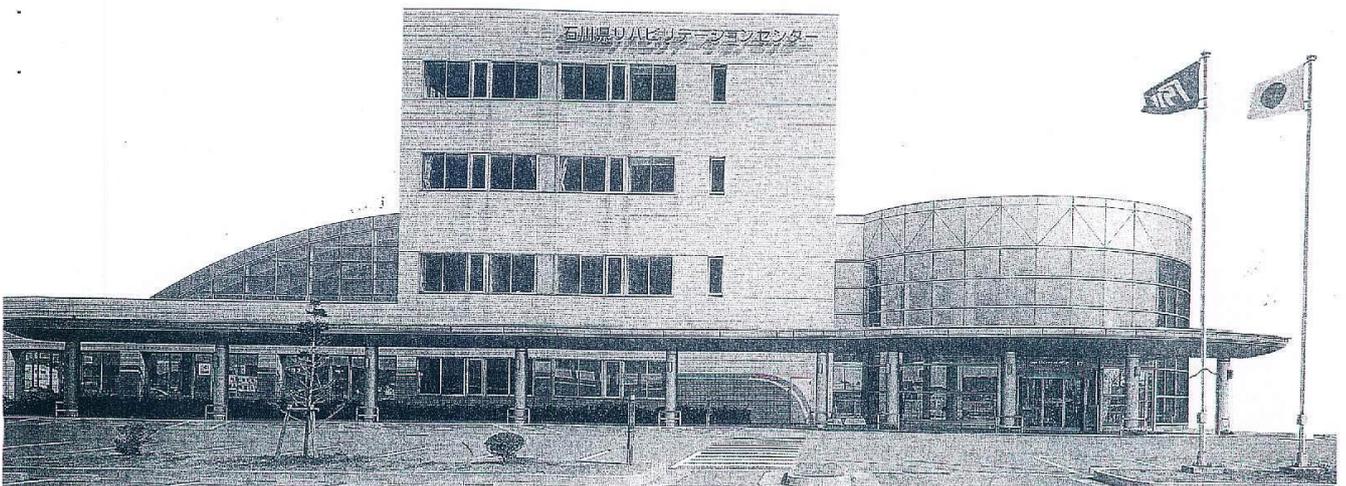


石川県リハビリテーションセンター

ISHIKAWA PREFECTURAL REHABILITATION CENTER

令和元年度事務提要



目 次

第1	施設の概要	2
第2	組織及び分掌事務	5
第3	職員数（平成31年4月1日現在）	6
第4	平成30年度の事業実績	
I	県リハビリテーション支援センターの状況	
1	地域リハビリテーション推進事業	
(1)	地域リハビリテーション推進検討会議の開催	7
(2)	地域リハビリテーション支援事業	7
(3)	リハビリテーション専門職広域派遣支援事業	9
2	支援指導事業	
(1)	リハビリテーションに関する啓発普及	11
(2)	研修	11
3	福祉用具研修・普及事業	
(1)	研修	12
(2)	普及事業	12
(3)	バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況	15
4	リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業	
(1)	地域における障害（児）者への自立支援機器の普及促進事業	17
(2)	自立支援機器活用研修事業	20
II	バリアフリー推進工房の状況	
1	福祉用具・住環境に関する相談・支援事業	23
2	研究開発事業	24
3	技術普及・啓発	25
4	福祉用具の貸出	26
III	難病相談・支援センターの状況	
1	難病相談	27
2	患者交流会	27
3	研修会	28
4	連携会議	31
5	職員派遣	32
6	啓発・普及	32
IV	高次脳機能障害相談・支援センターの状況	
1	高次脳機能障害相談	33
2	高次脳機能障害者及び家族を対象にした教室	33
3	高次脳機能障害研修会	34
4	高次脳機能障害普及啓発	35
5	高次脳機能障害支援関係者連絡会	36
6	医療機関実態調査	36
7	患者・家族会支援	36

第1 施設の概要

1 庁舎

所在地 金沢市赤土町ニ13-1

敷地面積 7,534.62㎡

建 物 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建

延べ床面積 4,356.77㎡

1階床面積 1,864.42㎡

2階床面積 1,140.05㎡

3階床面積 676.15㎡

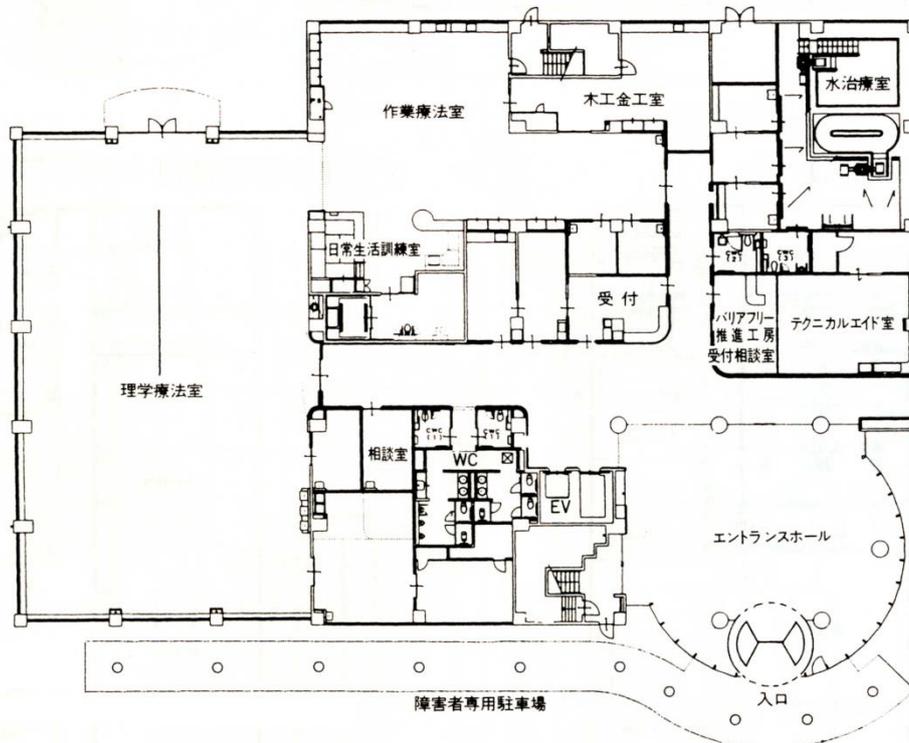
4階床面積 676.15㎡

その他 屋外訓練庭園 929.64㎡

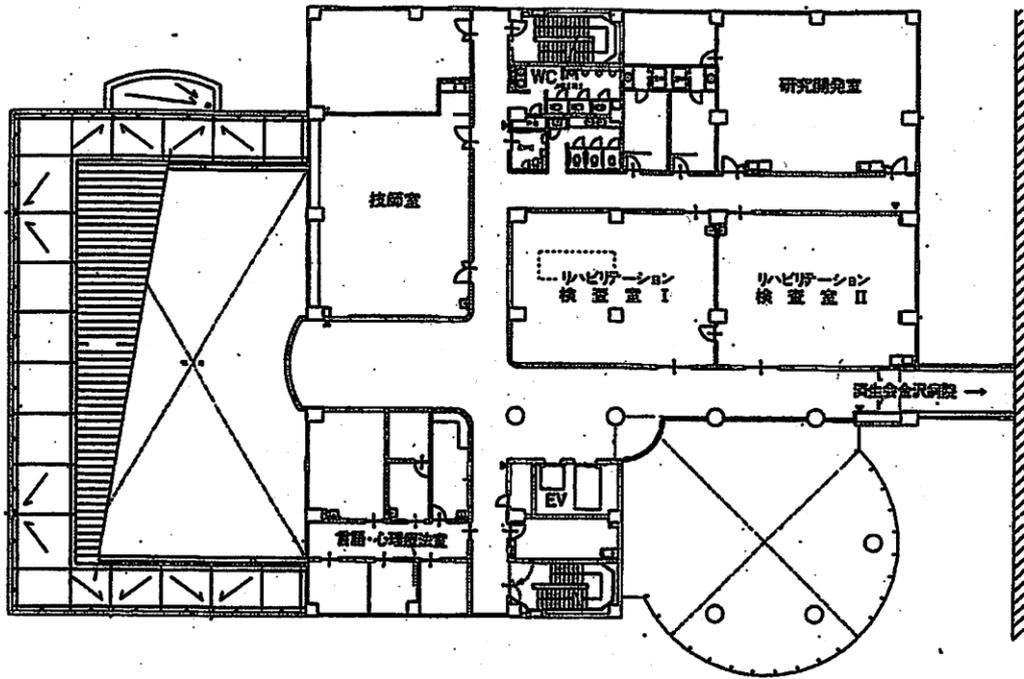
屋根付き障害者専用駐車場

プレハブ造車庫 46.75㎡

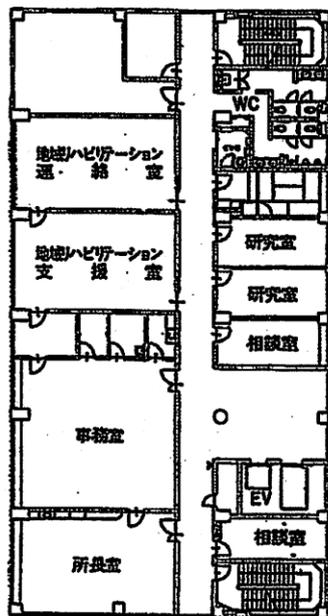
【1階平面図】



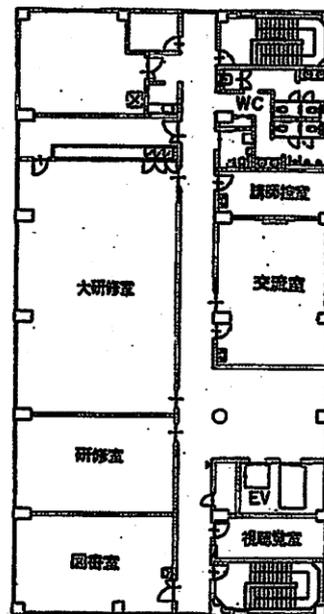
【2階平面図】



【3階平面図】



【4階平面図】



2 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家

建 物 鉄骨造 2階建

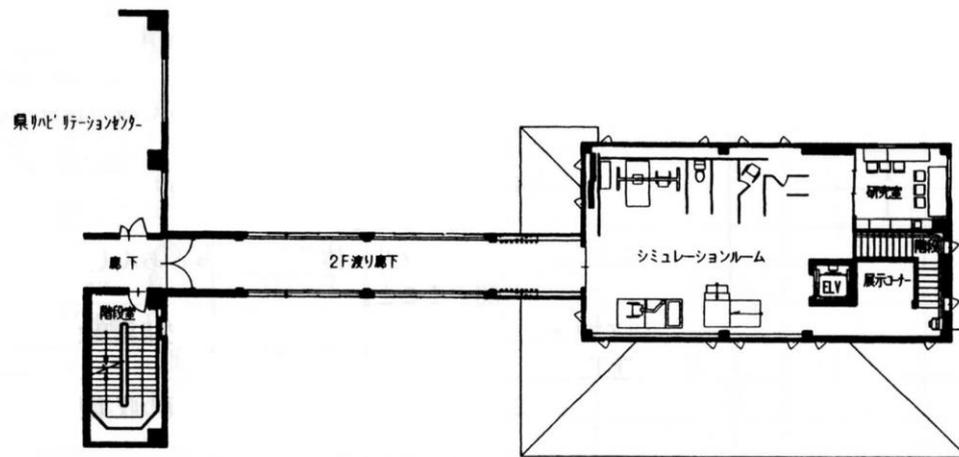
延べ面積 299.44㎡

1階 166.41㎡

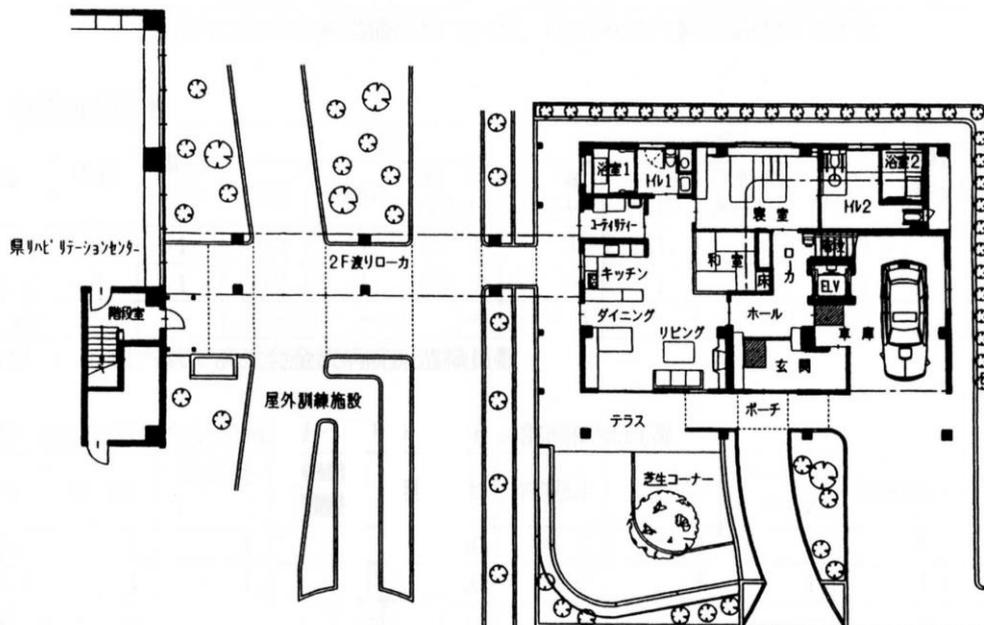
2階 133.03㎡

その他 渡り廊下 47.70㎡

計 347.14㎡



2階平面配置図



1階平面配置図

第2 組織及び分掌事務

次長		1 センター内の事務の連絡調整に関すること
所長	(事務)	2 石川県済生会金沢病院との連絡調整に関すること
		3 他の課の所掌に属しない事項に関すること
(技術)	庶務課	
	支援課	1 リハビリテーションに関する教育研修及び調査に関すること 2 リハビリテーションに関する情報の収集及び提供に関すること 3 リハビリテーションに関する知識の普及及び啓発に関すること 4 リハビリテーションに関する地域活動の支援に関すること 5 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家に関すること
	バリアフリー 推進工房	1 自立支援機器等の研究開発及び相談・指導に関すること 2 自立支援機器等に関する情報の収集及び提供に関すること
	難病相談・ 支援センター	1 難病・小児慢性特定疾病児童等の相談に関すること 2 患者会家族交流会に関すること 3 難病に関する研修及び情報収集に関すること
	高次脳機能 障害相談・ 支援センター	1 高次脳機能障害相談に関すること 2 患者会家族交流会に関すること 3 高次脳機能障害に関する研修及び情報収集に関すること

第3 職員数（平成31年4月1日現在）

1 事業別配置現員調

単位：人

区 分	現 員	総 括	庶務課	支援課	バリアフリー 推進工房	医療提供 (派遣職員)
所 長	①	①				
次長・工房長	(1) 2	2			(1)	1
課 長	1			1		
担 当 課 長	① 1			1	①	
主 幹	① 3		2	1	①	
企 画 専 門 員	5			4	1	
難病相談専門員	1			1		
福 祉 専 門 員	1			1		
主 任 技 師	2			2		
技 師	2			2		
嘱 託 職 員	4			4		
臨 時 職 員						
計	(1)③ 22	① 2	2	16	(1) ② 1	1

(注) () は所内における兼務職員数で内数、○は所外の兼務職員数で外数

2 職種別現員調

単位：人

区分	事務	事務 (福祉)	技 術						嘱託 臨時	計	
			医師	保健師	理学 療法士	作業 療法士	リハビリ 工学士	その他			小計
現員	3	2	(1) 1	3	1	7	1	(2)	(3) 18	4	(3) 22

(注) () は派遣職員数で内数

第4 平成30年度の事業実績

I 県リハビリテーション支援センターの状況

1 地域リハビリテーション推進事業

(1) 地域リハビリテーション推進検討会議の開催

①目的：リハビリテーションに関する地域活動支援の推進を目的に、石川県リハビリテーションセンターの運営及び地域リハビリテーションに関することを検討する。

②会議の構成：学識経験者、医師会等職能団体、患者・障害者団体、市町等の代表者

③実施状況

開催期日	主 な 議 題	出席者数
H31. 3. 13	平成 30 年度県リハビリテーションセンター事業の実施状況 平成 31 年度県リハビリテーションセンター事業の概要 その他	委員 16 人

(2) 地域リハビリテーション支援事業

高齢者や障害者が住み慣れたところで生き生きとした生活が送れるよう、地域の医療、保健、福祉、教育、就労に関係する機関に対して、リハビリテーション技術の支援及びリハビリテーション担当職員の人材育成のための研修を行う。

① 他機関への個別支援

依 頼 機 関	件数
医療機関	350
障害者総合支援法関連施設（障害者施設等）	184
教育機関（特別支援学校、特別支援学級等）	230
介護保険法関連施設	58
訪問リハビリテーション事業所	138
保健福祉センター	109
障害者の相談支援事業所	179
市町	87
身体障害者更生相談所	0
難病相談・支援センター	119
高次脳機能障害相談・支援センター	224
職業関連施設	0
その他	85
合 計	1763 件

② 福祉施設への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	0
環境調整や福祉用具の支援	9
リハビリテーション関係会議への参加	0
研修会講師	5
合 計	14 件

③ 教育機関への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	0
環境調整や福祉用具の支援	4
連絡会の参加	0
研修会講師	6
合 計	10 件

④ 市町、保健福祉センター等への事業支援

事 業 名	依 頼 元	回数
県障害者自立支援協議会 相談支援部会	県障害保健福祉課	2
介護支援専門員認定審査ポイント研修 講師	県長寿社会課	2
能美市地域自立支援協議会 定例支援会	能美市	3
ノーマネットはくさん会議	白山市	2
ロコモ予防出前講座 講師	石川中央保健福祉センター	1
パーキンソン病患者・家族のつどい 講師	能登中部保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	南加賀保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師	OPLL友の会(能登中部)	1
平成 30 年度 市町等身体障害者福祉事務担当者研修会 講師	県身体障害者更生相談所	1
平成 30 年度 バリアフリー条例に係る審査担当者講習会 講師	県土木部建築住宅課	1
平成 30 年度指定自動車教習所職員講習 講師	〃	3
合 計		18 回

⑤ 他機関への講師派遣、その他事業支援

研 修 会 及 び 講 義 名	依 頼 元	回数
臨床看護概論「リハビリテーション」 講師	石川県立看護大学	3
在宅看護 各論Ⅱ：在宅のリハビリテーション 講師	石川県立総合看護専門学校	5
リハビリテーションセンターの概要、福祉用具を用いた自立支援 講師	金城大学 理学療法学科、作業療法学科 1年生	2
特別支援学校情報教育連絡協議会 講演会 講師	石川県特別支援学校情報教育連絡協議会	1
平成 30 年度 バリアフリー住宅改修講習会 講師	NPO法人バリアフリー総合研究所 県土木部建築住宅課	3
平成 30 年度 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業 福祉機器採択・技術委員会 委員	国立研究開発法人新エネルギー・ 産業技術総合開発機構	1
平成 30 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 研究開発委員会 アドバイザー	公益財団法人石川県産業創出支援機構	1
合 計		16 回

(3) リハビリテーション専門職広域派遣支援事業

① 市町事業に関わるリハビリテーション専門職の育成研修

地域包括ケアシステムの推進に向けて市町が実施する総合事業に関与できるリハビリテーション専門職の育成を行う。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)

実施年月日	研修内容及び講師	会場	参加者数
H30. 12. 9 (日) 9:30～16:30	<p>テーマ「リハビリテーション専門職活用支援事業」</p> <p>第1部 地域ケア会議と介護予防事業 講師:石川県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡会</p> <p>①地域ケア会議における専門職による助言の目的と意義 野々市市 作業療法士 寺尾 朋美 小松市 理学療法士 高 圭介 七尾市 言語聴覚士 藪越 文佳</p> <p>②地域における自立支援・介護予防の推進に向けた専門職の役割と意義 輪島市 作業療法士 田中千亜紀 加賀市 理学療法士 小原 毅 かほく市 言語聴覚士 徳田 紀子</p> <p>第2部 特別講演 「地域包括ケアシステムとリハビリテーション」 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 社会政策部長 上席主任研究員 岩名 礼介</p>	リハビリテーションセンター	113人

② リハビリテーション専門職の連携体制づくり

市町が実施する総合事業において、リハビリテーション専門職派遣の必要が生じた際に対応可能な体制をつくる。

(対象：県理学療法士、県作業療法士、県言語聴覚士会の代表)

ア リハビリテーション連絡会議の開催 (計5回)

回次	実施年月日	議題	会場
1	H30. 5. 10 (木) 16:00～18:00	今年度の事業について	リハビリテーションセンター
2	H30. 6. 14 (木) 15:30～17:30	リハ専門職の人材育成の体制づくりについて	〃
3	H30. 8. 3 (金) 16:00～18:00	市町事業に関わるリハ専門職の育成研修について	〃
4	H30. 10. 4 (木) 16:00～18:00	リハビリテーション専門職連携体制づくりに係る委託事業について	〃
5	H30. 12. 6 (木) 16:00～18:00	委託事業の内容について 市町事業の関わるリハ専門職のH29年度実績について リハ専門職の人材育成の協力者名簿作成について	〃

イ 啓発・普及のためのモデル事業（シンポジウム）の開催

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
<p>H31. 1. 27(日) 10:00～12:45</p>	<p>テーマ「羽咋市の地域包括ケアシステムを知ろう！」 ～地域共生において病院・施設・地域で、 リハビリ専門職ができること～</p> <p>「羽咋市の地域包括ケアシステム活動の現状」 講師：羽咋市地域包括ケア推進室 室長 片山みゆき</p> <p>「羽咋市の医療・介護連携」 講師：公立羽咋病院 副院長 新屋 陽一</p> <p>「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション支援活動」</p> <p>① 在宅での生活を見据えた『カンタキ』における療養支援 講師：看護小規模多機能あわらんち 管理者/看護師 小堀 慶子</p> <p>② 地域リハビリテーション活動支援事業 ～自立支援型地域ケア会議について～ 講師：特別養護老人ホーム 眉丈園 理学療法士 池島 大智</p> <p>③ 羽咋市における施設間のリハビリ支援の例 ～主に維持期（生活期）の視点より～ 講師：介護老人保健施設 白鳥苑 作業療法士 金田 和弘</p> <p>④ 羽咋市における言語聴覚士の活動紹介 講師：公立羽咋病院 言語聴覚士 松原 彩世</p> <p>ディスカッション 座長：県理学療法士会 副会長 北谷 正浩</p>	<p>羽咋すこやかセンター いきいきホール</p>	<p>83人</p>

2 支援指導事業

(1) リハビリテーションに関する啓発普及

- ①リハビリテーションセンターニュースの発行（毎年5・3月に各1，800部を発行）及びホームページ（随時更新）で事業紹介を行う。

県内のリハビリテーション関係者ならびに医療・福祉関係機関等に対して、当センターの活動及び関連情報等を紹介することによりリハビリテーションの普及啓発を図る。

（対象：県、市町、保健福祉関係団体、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が勤務する機関、地域包括支援センター、障害者の相談支援事業所、居宅介護支援事業所、福祉用具サービス事業所、特別支援学校・学級、介護老人福祉施設、障害者福祉サービス事業所、児童発達支援センター、障害児通所支援事業所等）

(2) 研修

- ①リハビリテーション医療専門職研修会

リハビリテーション医療に関する最新情報や先進的な取り組みについて研修会を開催し、リハビリテーション専門職の資質向上を図る。

（対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H30.7.28(土) 13:30～17:00	「頸髄損傷の在宅を見据えたアプローチの仕方」 講師：神奈川県立保健福祉大学 教授 玉垣 努（作業療法士）	リハビリテーションセンター	49
H30.12.15(土) 14:00～17:00	「地域で取り組む食支援について ～摂食・嚥下リハビリテーションの視点から～」 講師：リハビリテーションのモグネット 主宰 小椋 脩（言語聴覚士・理学療法士）	〃	82
H31.2.23(土) 14:00～17:00	「NICU・PICUからはじまる小児在宅医療 ～ポジショニングや呼吸ケアへの対応と発達支援～」 講師：北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 横山 美佐子 氏（理学療法士）	〃	50
合計			181人

- ②教職員リハビリテーション研修

障害のある児童・生徒を担当する教職員に対して、学校生活における自立支援及び社会参加のためのリハビリテーションに関する知識、技術の向上を図る。

（対象：小松特別支援学校との共同企画）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H30.7.26(木) 10:00～15:30	<p>【全体講演会】 「動きの苦手さを理解して対応するために」 講師：うめだ・あけぼの学園 副園長 酒井 康年（作業療法士）</p> <p>【選択講座】 「手の使い方、身体の動かし方～保育園や学校での取組～」 講師：リハビリテーションセンター職員</p> <p>【福祉用具展示】 学習・生活場面で活用できる福祉用具の展示</p>	小松市第一地区 コミュニティセンター	121人

3 福祉用具研修・普及事業

(1) 研修

① 福祉用具活用研修会

障害者の自立度向上や介護者の負担軽減を目的とした福祉用具等の活用方法に関する実技研修を実施する。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士等のリハビリテーション専門職)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H30. 7. 1 (日) 13:30～16:30	「リハビリテーション専門職のためのコミュニケーション機器導入支援について～明日から使える支援のポイント・基礎知識～」 講師：中部学院大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科 教授 井村 保	リハビリテーションセンター	34人

② 職場環境改善研修会

福祉用具等を有効かつ適切に扱うことで高齢者や障害のある高齢者の生活の自立や質の向上を図るとともに、介護・福祉職の負担軽減や腰痛予防等の職場環境改善に貢献できる人材を育成する。今年度は、近年の技術革新により注目されている「介護ロボット」についての実践報告とする。

(対象：県内の介護保険関連施設および障害者総合支援法関連施設の管理者等)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H31. 2. 22 (金) 13:30～16:00	利用者と職員のための職場環境改善を目的とした福祉機器の活用 第1部 「介護ロボットをよりよいケアの実現のパートナーに！」 ～“見守り介護ロボット”から“生活支援ロボット”へ～ 講師：介護老人保健施設ひうな荘 理学療法士 森山 由香 第2部 「人材確保支援助成金(介護福祉機器助成コース)の 事業説明」 講師：石川労働局 職業安定部職業対策課 課長補佐 武苗 薫	リハビリテーションセンター	51人

(2) 普及事業

① バリアフリー普及・啓発事業

障害者や高齢者の自立生活や社会参加を促進することの重要性について理解を深め、バリアフリー環境の大切さや自然に支え合うことができる社会の実現を目指す普及・啓発を行う。

(対象：一般県民)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H30. 9. 30 (日) 10:00～16:00	障害者ふれあいフェスティバル 出展テーマ：楽しみを広げる 「福祉用具の紹介・体験・相談コーナー」 ・外出関連用具の紹介・展示・相談 ・車椅子、電動車椅子の体験・相談 ・様々なスイッチを利用したおもちゃ等の体験・相談 ・自助具ボランティア活動紹介と制作体験 相談・説明員：リハビリテーションセンター職員、 自助具ボランティア	産業展示館 4号館	10,000 (来場者数)

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30. 10. 13(土) 10:00～16:00	いしかわ介護フェスタ「福祉機器・介護ロボットコーナー」 ・福祉用具の展示と介護のお仕事体験ラリー ・併催事業「いしかわ介護ロボットフォーラム」(厚生労働省委託事業)への協力 ・企業出展：25社(介護ロボット30点)	産業展示館 1号館	4,200 (来場者数)
計			14,200人

② 県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生のための福祉用具・住環境技術実習

当センターに設置されているバリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」や専門的な福祉用具を活用し、住宅改修や福祉用具の適合等の専門的な技術支援について実技指導を行う。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生等)

実施年月日	内 容	学校名、学科名、学年	参加者数
H30. 6. 12(火) 13:30～16:00	・移乗動作(簡易移乗機器、リフト等)	金沢大学医薬保健学域保健学類 理学療法学専攻3年	21
H30. 6. 19(火) 13:30～16:00	・移動(車椅子・クッション)	〃	21
H30. 6. 26(火) 13:30～16:00	・片麻痺・対麻痺のADL、住環境について	〃	21
H30. 7. 17(火) 10:20～16:00	・テクニカルエイドについて ・自動車運転に関して ・シーティングについて ・コミュニケーションについて ・住環境について	国際医療福祉専門学校七尾校 作業療法学科2年	6
H30. 8. 27(月) ～8月31日(金)	・臨床見学実習	金城大学医療健康学部 作業療法学科2年	1
H30. 9. 13(木) 10:00～15:00	・センター事業説明 ・センター、ほっとあんしんの家の見学実習 ・福祉用具、自助具体験 ・医療従事者(理学療法士)としての心構え	国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科1年	17
H30. 12. 21(金) 9:00～16:30	・センター事業説明 ・センター、ほっとあんしんの家の見学実習 ・ADL実習の課題提示	金沢リハビリテーションアカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	67
H31. 2. 4(月) 15:00～16:00	・センター、ほっとあんしんの家の見学実習	関西医科専門学校 理学療法学科1～2年	12
H31. 2. 6(水) 9:00～16:30	・コミュニケーションについて(講義+実技) ・身体特性と車椅子との関係(講義) ・車椅子(クッションを含む)について(実技) ・ADL実習のオリエンテーション	金沢リハビリテーションアカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	67
H31. 2. 7(木) 9:00～16:30	・移乗について(講義+実技) ・移動(福祉車両)について(講義+実技)	〃	67
H31. 2. 12(火) 9:00～16:30	・住環境について(講義) ・ADL実習	〃	67
H31. 2. 13(水) 9:00～16:30	・ADL実習(発表)	〃	67

実施年月日	内 容	学校名、学科名、学年	参加者数
H31. 2. 14 (木) 9:00～16:30	・体の使い方について(講義+実技) ・ADL実習(再発表とまとめ) ・ADLについて(講義)	金沢リハビリテーションアカデミー 理学療法学科・作業療法学科 1年	67
H31. 2. 18(月) ～2. 22(金)	・臨床見学実習	金城大学医療健康学部 作業療法学科2年	1
H31. 3. 1(金) 10:00～16:00	・移乗動作と福祉用具について(講義+実技) ・車椅子について(講義+実技)	金城大学医療健康学部 作業療法学科1年	29
H31. 3. 5(火) 10:00～16:00	・センター、ほっとあんしんの家の見学 ・移乗動作と福祉用具について(講義+実技) ・車椅子について(講義+実技)	金城大学医療健康学部 理学療法学科1年	67
計			598人

③ テクニカルエイド普及展示会 (※テクニカルエイド:福祉用具や住環境に関するリハビリテーション技術支援)

福祉用具の利用や環境改善によるリハビリテーション技術支援が、障害のある子どもたちの自立度を高めるために役立つことを学ぶ機会として、展示会を開催する。

(対象:特別支援学校や特別支援学級の教職員等)

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
H30. 7. 26(木) 10:00～15:30	・福祉用具及び福祉車両の展示	小松市第一コミュニティセンター	121人

④ リハビリテーションセンターでの見学実習及び体験学習

バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」や福祉用具を利用した住宅改修や福祉用具の適合等の専門的な支援技術、車椅子や自助具等の活用法、高齢者や障害者への接し方等について見学・体験学習を行い、リハビリテーションやバリアフリー技術について普及する。

ア 医療・保健・福祉・工学関係分野の学生や団体等を対象にした体験学習

	高 校	専門学校	短大・大学	企業・法人	その他	合 計
受入団体数	3	12	12	5	24	56件
見学者数	103	158	102	120	479	962人

イ 小・中学生(ジュニアコース)を対象にした体験学習

	小学校	中学校	合計
受入団体数	3	2	5件
体験者数	159	121	280人

ウ 高齢者疑似体験用具の貸出

	小学校	中学校	高 校	専門学校	企業・法人	その他	合計
貸出件数	9	9	1	2	12	14	47件

(3) バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況

高齢者や障害者が住みやすいバリアフリー住宅の見学・体験を受け入れるとともに、県内の医療福祉関係者、企業等に対して福祉用具や住環境に関する研究、開発、教育の場を提供し、必要な場合は外部の有識者等による技術支援を行う。

区 分	内 容	利用人数		利用件数	
		29年度	30年度	29年度	30年度
研究・開発	県内企業、団体等における福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発の場として利用	人 156	人 102	件 46	件 21
テクニカルエイド相談（福祉用具や住環境を用いた障害者への自立支援）	障害者や高齢者の自立生活を促進するための福祉用具の試用・適合、住宅プランを検討する場として利用	388	429	114	129
研修教育	先端的なバリアフリー体験住宅により、医療・福祉専門職や学生等の教育研修の場として利用	2,087	2,397	90	78
一般見学	生涯住宅としてのバリアフリー住宅の提案の場として利用	666	588	83	79
合 計		3,297	3,516	333	307

<参考> ほっとあんしんの家の利用状況

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用 総 数	平成26年度	件数	31	37	47	41	37	25	28	33	15	15	20	16	345	
		人数	154	248	516	325	257	294	282	407	125	98	517	99	3,322	
	平成27年度	件数	19	22	31	29	25	28	33	33	33	20	22	28	28	318
		人数	56	191	336	331	274	379	399	399	404	184	146	706	214	3,620
	平成28年度	件数	18	20	32	26	29	28	25	29	29	23	18	37	35	320
		人数	130	148	174	289	163	264	350	327	112	132	827	222	3,138	
	平成29年度	件数	25	29	24	39	37	27	35	24	24	23	19	21	30	333
		人数	173	225	471	359	199	269	444	96	237	120	406	298	298	3,297
	平成30年度	件数	16	23	26	28	38	21	39	26	26	18	22	24	307	
		人数	46	141	259	409	202	204	824	324	360	178	325	244	3,516	
	一 般	平成26年度	件数	14	9	18	10	7	6	9	10	2	2	3	5	95
			人数	48	58	187	127	41	33	68	62	8	8	4	9	653
内県政バス		件数	-	1	3	3	0	0	1	0	-	-	-	-	8	
		人数	-	43	105	114	0	0	37	0	-	-	-	-	299	
平成27年度		件数	6	5	4	11	6	8	8	2	1	3	2	10	66	
		人数	10	117	27	67	44	128	57	37	5	5	6	28	531	
内県政バス		件数	-	3	0	1	1	2	1	0	-	-	-	-	8	
		人数	-	113	0	37	37	92	30	0	-	-	-	-	309	
平成28年度		件数	3	2	7	7	2	9	3	9	5	1	3	10	61	
		人数	13	3	37	78	2	37	38	53	8	2	6	62	339	
内県政バス		件数	-	0	0	1	0	0	1	0	-	-	-	-	2	
		人数	-	0	0	41	0	0	32	0	-	-	-	-	73	
平成29年度		件数	9	7	3	7	13	7	7	10	1	5	5	9	83	
		人数	53	80	110	62	84	49	95	26	13	9	25	60	666	
内県政バス		件数	-	2	3	1	0	1	2	0	-	-	-	-	9	
		人数	-	71	110	49	0	37	81	0	-	-	-	-	348	
平成30年度		件数	6	8	7	4	6	1	16	13	7	3	4	4	79	
		人数	21	47	49	37	41	2	224	134	13	5	8	7	588	
内県政バス	件数	-	1	1	1	0	0	4	1	-	-	-	-	8		
	人数	-	33	36	32	0	0	142	35	-	-	-	-	278		
研 修 教 育	平成26年度	件数	3	5	13	9	14	7	5	9	2	3	9	3	82	
		人数	28	97	267	127	147	218	154	297	77	54	468	53	1,987	
	平成27年度	件数	2	2	12	6	6	5	9	14	14	5	6	12	5	84
		人数	11	22	275	212	179	193	264	310	115	86	630	135	2,432	
	平成28年度	件数	3	5	6	11	13	7	8	8	2	5	15	5	88	
		人数	56	88	68	171	94	190	262	222	54	96	755	74	2,130	
	平成29年度	件数	2	3	9	17	8	5	10	4	8	5	8	11	90	
		人数	57	82	314	226	53	175	281	47	186	95	356	215	2,087	
	平成30年度	件数	2	1	8	11	10	5	11	5	4	6	8	7	78	
		人数	9	44	173	307	74	149	568	160	291	149	281	192	2,397	
	相 談	平成26年度	件数	11	15	13	19	13	8	12	14	10	8	8	8	139
			人数	72	65	57	66	60	26	52	48	34	32	45	37	594
平成27年度		件数	10	13	11	11	10	9	13	10	10	10	12	10	129	
		人数	31	47	28	44	45	33	58	32	46	47	63	43	517	
平成28年度		件数	10	13	15	7	12	12	12	12	13	11	16	16	149	
		人数	53	57	62	36	65	37	47	52	46	32	57	57	601	
平成29年度		件数	10	12	7	11	12	10	11	6	9	9	7	10	114	
		人数	49	40	17	59	46	29	41	14	31	16	23	23	388	
平成30年度		件数	7	14	10	12	19	11	11	7	11	7	10	10	129	
		人数	14	50	30	59	76	28	31	23	35	17	36	30	429	
研 究 開 発		平成26年度	件数	3	8	3	3	3	4	2	0	1	2	0	0	29
			人数	6	28	5	5	9	17	8	0	6	4	0	0	88
	平成27年度	件数	1	2	4	1	3	6	3	7	4	3	2	3	39	
		人数	4	5	6	8	6	25	20	25	18	8	7	8	140	
	平成28年度	件数	2	0	4	1	2	0	2	0	3	1	3	4	22	
		人数	8	0	7	4	2	0	3	0	4	2	9	29	68	
	平成29年度	件数	4	7	5	4	4	5	7	4	5	0	1	0	46	
		人数	14	23	30	12	16	16	27	9	7	0	2	0	156	
	平成30年度	件数	1	0	1	1	3	4	1	1	4	2	0	3	21	
		人数	2	0	7	6	11	25	1	7	21	7	0	15	102	

※施設改修工事のため平成25年10月11日（金）～平成26年1月31日（金）まで臨時休館

4 リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業

障害者総合支援法や県の地域医療再生計画により、高齢者や障害者の自立支援が重要視される中、平成24年度に実施したリハビリテーション機能強化検討会及びアンケート等の結果を踏まえ、平成25～28年度に身近な地域で福祉用具や住宅改修等によるリハビリテーション技術支援体制の充実を図るモデル事業を実施した。

さらに、平成29年度からは県内各地域で在宅生活を営む高齢者や障害のある方の自立生活や社会参加を一層促進するために、地域での相談支援体制づくりとリハビリテーション技術支援を提供する人材育成を図った。

(1) 地域における障害（児）者への自立支援機器の普及促進事業

在宅で生活する高齢者や障害のある方の自立生活や社会参加を図るには、在宅での実践的リハビリテーション技術支援が重要となり、各地域でこれらの活動を推進するには、医療・福祉・介護の連携が必要となるため、各地域における支援者同士のネットワークづくり及び適切なリハビリテーション技術支援が提供できる相談支援体制の充実を目指す。

① 特別講演及び報告会

各地域での支援者同士のネットワーク強化を目的に、今後の展望を見据えた支援の考え方に関する特別講演会及び当事者と関係者の方々から在宅生活を送る上で自立支援機器の活用と多職種連携の必要性について実践報告会を開催した。

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会場	参加者数
H30. 11. 29(木) 13:30～17:00	<p>【特別講演】 テーマ「在宅リハビリテーション支援の考え方と今後の展望」 講師：横浜市総合リハビリテーションセンター 顧問 伊藤 利之</p> <p>【実践報告会】 報告者：当事者、家族、松任訪問看護ステーション、 白山市社会福祉協議会ホームヘルプセンター</p>	リハビリ テーション センター	57人

② 在宅リハビリテーション検討会

能登北部、能登中部、南加賀、石川中央東（かほく市、津幡町、内灘町、金沢市）、石川中央西（白山市、野々市市、金沢市）の5会場で、リハ専門職、介護支援専門員、相談支援専門員、市町担当者を対象に、医療と在宅のリハビリテーション連携強化を図る勉強会を行い、支援者同士の身近な関係づくりと知識・支援技術の向上を図るための検討会を開催した。

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会 場	参加者数
H30. 9. 15(土) 13:30～16:30	<p>【石川中央東(かほく市、津幡町、内灘町、金沢市)地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立病院機構 医王病院 中本 富美 (医療ソーシャルワーカー) ・ 金沢医科大学病院 橋本 亮二 (理学療法士) ・ 浅ノ川総合病院 小浦 綾乃 (作業療法士) ・ 済生会金沢病院 西谷 厚 (作業療法士) ・ ケアパック石川リハビリ訪問看護ステーション 宮本 智次 (作業療法士) ・ 金沢湖南苑 自立訓練こなん 芦田 和寛 (作業療法士) <p>イ) 事例報告 リハビリテーションセンター職員</p> <p>ウ) 高次脳機能障害者の支援連携とその必要性について</p>	リハビリテーションセンター	47
H30. 9. 22(土) 13:30～16:30	<p>【能登中部地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立病院機構 七尾病院 上田 竜也 (医療ソーシャルワーカー) ・ 公立能登総合病院 織平 秀一 (理学療法士) ・ 恵寿総合病院 川上 直子 (作業療法士) ・ 町立富来病院 加藤 孝之 (作業療法士) ・ 公立羽咋病院 桶谷 淳一 (作業療法士) ・ 青山彩光苑リハビリテーションセンター 石渡 和美 (理学療法士) <p>イ) 事例報告 リハビリテーションセンター職員</p> <p>ウ) 高次脳機能障害者の支援連携とその必要性について</p>	ワークパル七尾	34
H30. 10. 7(日) 13:30～16:30	<p>【石川中央西(白山市、野々市市、金沢市)地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立病院機構 医王病院 中本 富美 (医療ソーシャルワーカー) ・ 金沢脳神経外科病院 土山 裕之 (理学療法士) ・ 金沢赤十字病院 宮田 伸吾 (理学療法士) ・ 公立つるぎ病院 苗山 卓弘 (作業療法士) ・ 訪問看護ステーション リハス 後藤 洋平 (作業療法士) ・ 金沢ふくみ苑 自立訓練なでこ 可長 京子 (作業療法士) <p>イ) 事例報告 リハセンター職員</p> <p>ウ) 高次脳機能障害者の支援連携とその必要性について</p>	リハビリテーションセンター	36

実施年月日	講演会・報告会の内容及び講師等	会 場	参加者数
H30. 10. 20(土) 13:30～16:30	<p>【南加賀地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立病院機構 石川病院 前野 聖美 (医療ソーシャルワーカー) ・ 加賀市医療センター 亀田 辰也 (理学療法士) ・ やわたメディカルセンター 酒井 有紀 (理学療法士) ・ 芳珠記念病院 合歓垣紗弥香 (作業療法士) ・ 小松ソフィア病院 田中 渉 (理学療法士) ・ 石川整肢学園 自立訓練とらい 中田 奈央子 (作業療法士) <p>イ) 事例報告 リハセンター職員</p> <p>ウ) 高次脳機能障害者の支援連携とその必要性について</p>	小松市民センター	29
H30. 11. 3(土) 13:30～16:30	<p>【能登北部地区】</p> <p>ア) 在宅リハビリテーション活動紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立病院機構 医王病院 小田 輝美 (医療ソーシャルワーカー) ・ 金沢医科大学病院 平木 咲代子 (作業療法士) ・ 公立能登総合病院 織平 秀一 (理学療法士) ・ 恵寿総合病院 白山真由子 (作業療法士) ・ 市立輪島病院 山崎 裕之 (理学療法士) ・ 珠洲市総合病院 濱野久美子 (理学療法士) <p>イ) 事例報告 リハセンター職員</p> <p>ウ) 高次脳機能障害者の支援連携とその必要性について</p>	奥能登総合事務所	17
合 計			163人

(2) 自立支援機器活用研修事業

① 自立支援機器スペシャリスト育成研修

リハビリテーション専門職及び福祉用具専門相談員を対象に、車椅子やコミュニケーション機器等の補装具に関する適合、選定、製作の実践的演習を実施し、地域で補装具等を活用したリハビリテーション技術支援ができる人材育成を図る。

ア リハビリテーション専門職研修

i) 車椅子実技研修

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
第1回 H30.12.8(土) 13:30～17:00	講義・事例演習「車椅子適合・採型の進め方と必要な知識」 助言者：鈴木大輔、北出朱菜、須永沙紀（当事者） 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	22
第2回 H31.1.12(土) 10:00～16:00	事例演習「ニーズに応じた車椅子の適合技術」 助言者：鈴木大輔、北出朱菜、須永沙紀（当事者） 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	19
第3回 H31.2.9(土) 13:30～17:00	事例演習「ニーズに応じた車椅子の適合プラン検討」 助言者：鈴木大輔、北出朱菜、須永沙紀（当事者） 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	20
合計			61人

ii) 車椅子フォローアップ研修

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H30.8.5(日) 15:00～17:00	事例演習「事例をもとに車椅子選定、製作に向けての多職種ディスカッション」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	8人

イ 福祉用具専門相談員研修

i) コミュニケーション機器研修

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H30.7.2(月) 9:30～12:00	講話「補装具費支給制度の最新情報について～借受けを中心に～」 講師：中部学院大学 看護リハビリテーション学部 教授 井村 保	リハビリテーションセンター	31人

ii) 車椅子実技研修

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
第1回 H31.2.9(土) 14:30～17:00	事例演習「当事者ニーズとアセスメント結果から 車椅子の適合・製作プランを考える」 助言者：鈴木大輔、北出朱菜、須永沙紀（当事者） 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	15
第2回 H31.2.20(水) 16:00～18:00	事例演習「ニーズに応じた車椅子の製作プラン検討Ⅰ」 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	12
第3回 H31.3.20(水) 16:00～18:00	事例演習「ニーズに応じた車椅子の製作プラン検討Ⅱ」 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	12
合 計			39人

iii) 車椅子フォローアップ研修

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30.8.5(日) 15:00～17:00	事例演習「事例をもとに車椅子選定、製作にむけての 多職種ディスカッション」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	5人

② 自立支援機器情報交換連絡会

障害者や高齢者の自立した在宅生活や積極的な社会参加を目的に、福祉用具メーカーの協力を得て、県内の福祉用具取扱事業者、リハビリテーション専門職、当事者等を対象に自立支援機器の情報交換の場を設けることにより機器の普及促進を図る。

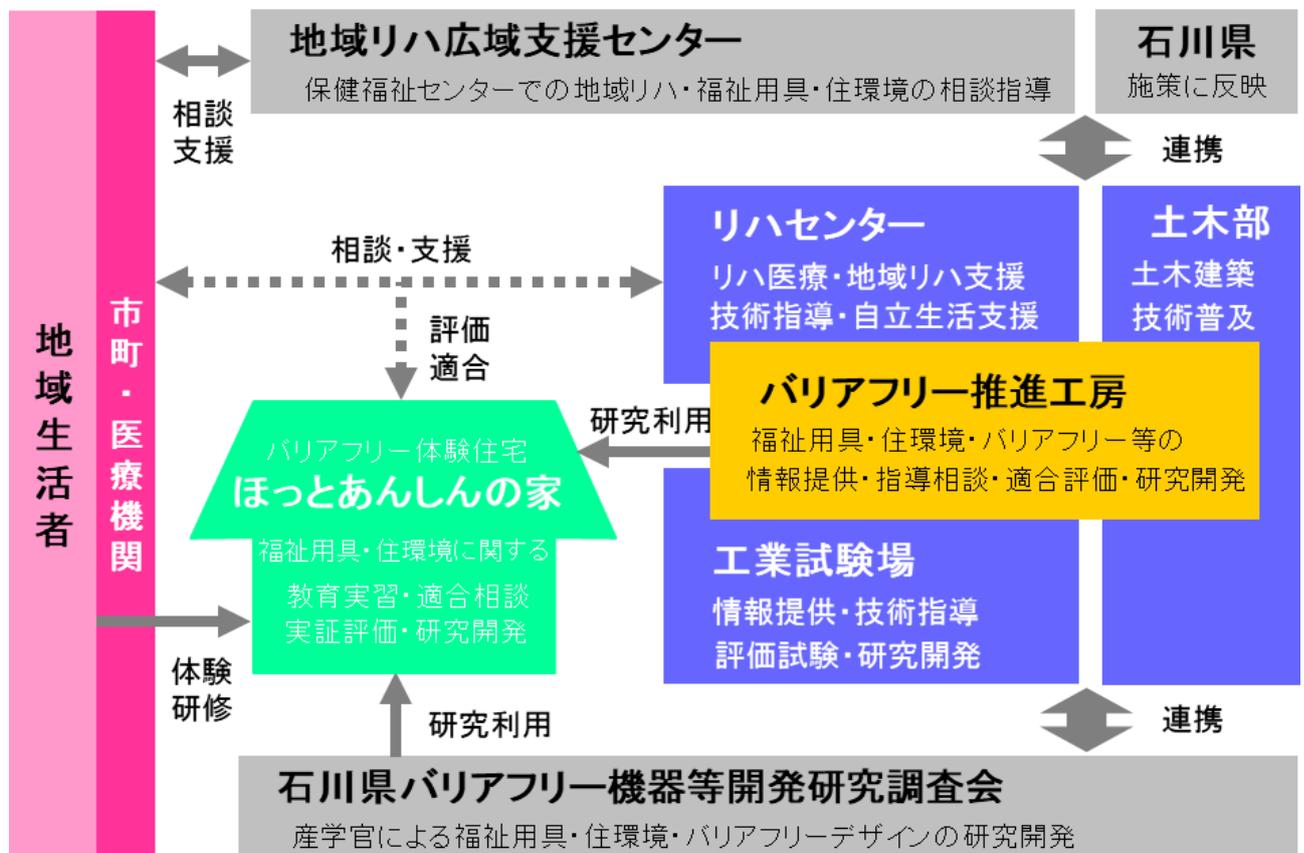
実施年月日	形式	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30.8.5(日) 13:00～14:45	定期	シーティング用具 ～クッション、パッド、ベルト等～	リハビリテーションセンター	36
H30.10.13(土) 10:00～16:00	〃	介護ロボット ～見守り・コミュニケーション・移動・ 移乗・排泄支援機器 等～	石川県産業展示館1号館	4,200
H30.10.18(木) 16:00～18:00	臨時	クッション	リハビリテーションセンター	16
H30.10.25(木) 16:00～18:00	定期	コミュニケーション機器 ～意思伝達装置、各種入力機器等～	〃	32
H30.11.19(月) 16:00～18:00	臨時	車椅子・付属品 ～クッション、ベルト、グローブ等～	〃	21
H31.1.25(金) 16:00～18:00	〃	軽量自走用（モジュール式）車椅子 ～機能と発注のポイント～	〃	25
合 計				4,330人

II バリアフリー推進工房の状況

健康福祉社会の構築と新産業の創出に向けて、リハビリテーションセンター、工業試験場、土木部建築住宅課および健康福祉部厚生政策課の連携により、障害者の自立生活支援、福祉用具の開発、製品・住環境のユニバーサルデザイン研究等を行っている。

事業と組織の概要

- ・ 障害者個々へのリハビリテーション工学支援技術（福祉用具・住宅改修等による自立生活支援技術）の提供
- ・ 障害者のニーズ把握と身体特性データの蓄積
- ・ リハビリテーション工学支援技術の体系化
- ・ 産学官連携による福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発
- ・ 県内企業・大学・医療福祉関係機関等への情報提供と技術普及



1 福祉用具・住環境に関する相談・支援事業

(1) 相談・支援件数

- ① 医療・福祉機関等が既存技術で解決できない福祉用具や住環境等の相談・指導
実績：1073件
- ② 企業に対する福祉用具、ユニバーサルデザインの相談・指導
実績：301件
- ③ 行政に対する福祉用具、ユニバーサルデザインに対する相談・指導
実績：311件

依頼元別内訳

単位：件

依頼元	TA相談	情報提供	設計開発 相談	試作製品 評価	合計
医療福祉機関等	851	133	0	0	984
教育機関等	54	14	1	1	70
企業等	7	140	132	29	308
行政・公共団体等	161	123	39	0	323
合計	1,073	410	172	30	1,685

※TA相談：福祉用具活用・住宅改修等によるリハ技術支援に関する相談

用具分類別内訳

単位：件

分類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合計
治療訓練用具	0	1	0	0	1
義肢・装具	21	11	0	0	32
パーソナルケア関連用具（トイレ・入浴・他）	61	10	6	3	80
移動機器（車椅子クッション・他）	23	15	1	2	41
移動機器（リフト）	29	3	1	0	33
移動機器（移乗・体位変換用具）	14	3	21	0	38
移動機器（視覚障害者用機器）	0	1	0	0	1
移動機器（自動車）	3	11	0	0	14
移動機器（車椅子）	204	80	1	1	286
移動機器（電動車椅子）	226	68	85	12	391
移動機器（杖・歩行器）	5	8	10	4	27
家事用具・操作用具（自助具・他）	25	5	7	6	43
家具・建具、建築設備（スロープ・昇降装置・住宅部品・他）	5	3	1	0	9
家具・建具、建築設備（ベッド・机）	4	2	0	1	7
家具・建具、建築設備（椅子・座位保持装置）	146	20	0	1	167
コミュニケーション関連用具（入力装置）	55	18	0	0	73
コミュニケーション関連用具（固定調整具・他）	19	5	0	0	24
コミュニケーション関連用具（呼びベル・緊急通報・環境制御装置）	10	7	0	0	17
コミュニケーション関連用具（視・聴覚障害者用機器）	0	4	0	0	4

分 類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合 計
コミュニケーション関連用具（対話用機器）	120	22	1	0	143
環境改善機器・作業用具	0	0	0	0	0
レクリエーション用具	0	46	0	0	46
都市計画	0	0	0	0	0
公共建築・施設	0	15	36	0	51
住環境	101	5	1	0	107
福祉用具全般	0	30	1	0	31
技術要素	0	4	0	0	4
その他	2	13	0	0	15
合 計	1,073	410	172	30	1,685

（２） 自助具製作ボランティア活動

障害のある人のうち特に進行性疾患（難病）の人に自助具が必要となる場合、既製品での対応が難しいことが多く、さらに、適時適切な用具の提供が必要になるため、身近な地域での自助具製作や適合支援が求められる。

このため、ものづくりの職能を活かした地域人材（メーカーOB等）7名及び工学系大学の学生3名の自助具製作ボランティアにより、電動玩具スイッチの回路・コネクタ、電動ベッドや電動車椅子の修理検討など9課題について10回延べ13人が活動を行った。

また、製作ボランティアと支援者（リハ専門職）との情報交換会を開催し、これまでに製作した自助具等の成果報告及び障害者が必要とする自助具等のニーズについて意見交換を行い、理解を深めた。

2 研究開発事業

リハビリテーション工学支援技術の提供で蓄積されたデータをもとに、高齢者・障害者の生活ニーズ、身体特性、支援技術などを体系的に整理し、福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品に関する自主的研究、企業や行政との共同研究開発などを行っている。

（１） 自主的研究開発

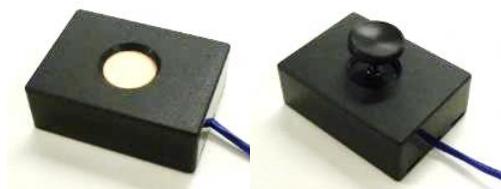
- ・ 重度障害者に対する電動車椅子操作装置の開発

手指等を僅かしか動かすことができない重度四肢麻痺者が電動車椅子の操作を行うには、その微弱な動作に対応した操作インタフェースが必要となる。微弱（30gf未満）の操作力に適応する操作インタフェースの実現をめざすため、昨年度試作したスポンジ状触覚センサを応用した操作インタフェースにより、電動車椅子走行を実現するための制御技術や設定条件等を検討し、この結果をもとに各種電動車椅子に対応した微小力操作装置を試作した。今後、この操作装置により身体特性に応じた操作インタフェースの構造や形状について、検討を進める。

【委託加工：身体特性に応じた微小力操作インタフェース検討のための電動車椅子操作装置の試作】



装置の構成



微小力操作インタフェース

(2) 他機関との共同研究開発

企業・団体・行政等が単独で解決することができない福祉用具開発やユニバーサルデザインの課題に対して、バリアフリー推進工房が蓄積する技術情報や製品評価・開発技術等のノウハウを提供し、課題解決を図る。

ア 行政との連携による研究開発（公共施設のユニバーサルデザイン研究）：県土木部

- ・新県立図書館の建設に向けて、障害者団体のヒアリング調査を実施し、誰もが利用しやすい施設設計に反映している。また、金沢港クルーズターミナルほか県有施設等のユニバーサルデザイン支援を行っている。

イ 企業との共同研究開発 [研究開発型企業重点指導]

- ・姿勢変換可能なコンパクト軽量電動車椅子の開発支援：(株)今仙技術研究所

重度の障害がある電動車椅子ユーザが日常生活を車椅子上で過ごすには、自身で姿勢変換を行える電動姿勢変換機能や狭い在宅環境でも利用できる旋回性に優れた小型で軽量な電動車椅子が求められるが、この条件を満たす市販品がない。

そこで、平成 23 年度から当センターの自主研究課題として、姿勢変換及び室内移動が円滑な軽量でコンパクトな電動リクライニング・ティルト式電動車椅子の研究開発に取り組み、ここから得られた開発条件をもとに実用化研究を担う今仙技術研究所に対して指導を行った。

在宅内狭所や生活上必要な屋外（小段差・傾斜路、車両乗込等）への対応を図るべく、中輪駆動方式の電動車椅子を試作し、このモニター検証及び改善を重ね、製品化に向けての仕様検討を進めた。

- ・認知・歩行能力が低下した高齢者の歩行車開発支援：(株)メディペック

現在、病院や施設等で利用されている歩行車には、大きく分けて制動装置付きのものとしてないものがあり、利用者の身体特性によって使い分けられているが、利用者の転倒事故や介護職員の見守り負担につながるケースが少なくない。

このため、当社の共同開発者が保有する特許技術（利用者の歩行能力、手指機能、認知面等に応じて意識せず適度に制動がかかり、転倒リスクや介護負担を軽減する特殊制動装置）を応用した歩行車の製品開発を支援した。

自らの意思でブレーキ操作が困難な利用対象者を想定し、対象者に適した制動装置の機構検討、歩行能力及び身体寸法に適した歩行車の寸法・形状検討をもとに試作機を作製した。さらに、モニター検証により製品仕様を検討するための調整機能等の改善を図った。

なお、本研究開発は公益財団法人石川県産業創出支援機構が実施する「平成 28 年度いしかわ産業化資源活用推進ファンド事業助成金」により実施している。

3 技術普及・啓発

(1) 他部局との連携

- ・身体障害者更生相談所との技術連携・支援（健康福祉部）
- ・バリアフリー社会推進賞の募集・審査（健康福祉部）
- ・学校における福祉用具及びバリアフリー環境等に関する情報提供（教育委員会）

(2) 他機関委員会等への参画

- ・バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会（北陸信越運輸局）
- ・障害者雇用管理サポート事業（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）
- ・福祉機器採択審査・技術委員会（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- ・戦略的基盤技術高度化支援事業（公益社団法人石川県産業創出支援機構）

(3) 展示会への出展

最新の福祉用具及びバリアフリー推進工房の活動を紹介（健康福祉部）

- ・障害者ふれあいフェスティバル
- ・介護フェスタいしかわ

4 福祉用具の貸出 1,062件

関係機関からの依頼により、試用・評価用の福祉用具を貸出している。

分類	用具	件数	小計
義肢・装具	BFO・スプリング balanサー・スプリント・他	48	48
パーソナルケア	トイレ・入浴・更衣・整容	46	46
移動・移乗用具	杖・歩行器	8	483
	車いす	147	
	電動車いす	16	
	クッション	163	
	車いす部品	134	
	リフト・吊り具	1	
	移乗用具・他	14	
食事・炊事・操作用具	食事・炊事用具	166	166
家具・建具・建築設備	座位保持装置・いす	24	41
	家具類（机等）	1	
	スロープ・手すり・他	16	
コミュニケーション	スイッチ・入力装置	112	245
	意思伝達装置・会話補助装置	50	
	呼び出しベル・環境制御装置	34	
	固定・調整用具	49	
その他	スポーツ・レクリエーション用具・他	33	33
合計			1,062件

Ⅲ 難病相談・支援センターの状況

1 難病相談

病気や療養上の悩み等に関する相談に応じ、難病患者、家族の不安の軽減を図る。

電 話	面 接	うち			メール FAX はがき	その他 (ケース 会議等)	家 庭 訪 問	合 計
		うち 専門医	うち リハビリ 専門職	うち難病 患者就職 サポーター				
666	135	9	30	16	75	191	80	1,147 人

2 患者交流会

難病患者・家族の交流を図る。

①疾患を限定しない交流会

実施年月日	内 容	対象者	回数	参加人数 (うち難病患者)
毎月第2火曜日 13:00～16:30	難病交流会(手工芸、話し合い等)	難病のある方と その家族	12	71 (62)
隔週水曜日 13:30～15:30	パソコン・タブレット教室	難病、その他障 害のある方	25	146 (52)
合計			37回	217 (114) 人

②疾患別交流会

実施年月日	対 象 者	場 所	参加人数
H30.8.2 (木) 13:30～15:00	進行性核上性麻痺	リハビリテーションセンター	2
H30.8.23 (木) 13:30～15:00	特発性間質性肺炎	〃	3
H30.9.13 (木) 14:00～15:30	肺動脈性肺高血圧症	〃	4
H30.9.28 (金) 14:00～15:45	天疱瘡	〃	2
H30.10.23(火) 13:30～15:00	シェーグレン症候群	〃	6
H30.10.30(火) 15:30～16:30	特発性拡張型心筋症 肥大型心筋症	〃	8
H30.11.8 (木) 16:00～16:30	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、多 発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発 血管炎	〃	16
合 計			41 人

3 研修会

難病患者、家族が疾患や療養生活に役立つ知識を得、病気と上手くつき合っていく方法を身につける。

(1) 難病研修会（対象：難病患者、家族）

難病患者、家族が疾患や療養生活に役立つ難病に関する知識を得、病気と上手くつき合っていく方法を身につける。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30. 5. 8 (火) 14:30～16:00	(難病交流会) 「栄養士さんに聴くお悩み別対応法」 講師：石川県立中央病院 管理栄養士 安井 典子	リハビリ テーション センター	5
H30. 8. 7 (火) 14:00～15:00	(難病交流会) 「音楽会～癒しのハンドベル～」 講師：北陸学院中学校ハンドベルクラブ	〃	13
H30. 8. 21(火) 13:30～15:30	(就労相談会) 「難病のある方の就労について ～利用できる制度について知ろう～」 講師：金沢公共職業安定所 難病患者就職サポーター 国田 直樹	〃	4
H30. 9. 5 (水) 13:30～16:00	(ピアサポーター養成講座①) 「『物語』の視点から学ぶ難病ピア・サポート」 講師：富山大学人文学部 准教授 伊藤 智樹	〃	10
H30. 9. 8(土) H30. 10. 13(土) H30. 11. 10(土) 10:00～12:00	(セルフマネジメント研修) *SCD 友の会と共催 「音楽教室」 講師： 齊藤 昌子	〃	13
H30. 9. 13(木) 13:30～15:30	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「心臓病の子どもたちの成長発達について ～療養生活で気をつけたいこと～」 講師：金沢医科大学病院小児循環器内科 中村 常之	〃	13
H30. 9. 19(水) 13:30～16:00	(ピアサポーター養成講座②) 「ピア・サポートに役立つ会話のヒント 傾聴の基本と配慮 ～思いを聞き出す話し方～」 講師： 心理相談員 吉本 真悟	〃	10
H30. 10. 3(水) 13:30～16:00	(ピアサポーター養成講座③) 「ピア・サポーターにとって大事なこと ～相手も自分も守る方法～」 講師： 心理相談員 吉本 真悟	〃	8
H30. 10. 4(木) 14:00～16:00	(医療講演会・相談会) 腎臓系疾患に関する医療講演会 「IgA腎症・多発性嚢胞腎・一次性ネフローゼ症候群・急速進行性糸球体腎炎・一次性膜性増殖性糸球体腎炎について」 講師：金沢医科大学腎臓内科学 教授 横山 仁	〃	12

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30. 10. 9(火) 14:00～15:30	(難病交流会) 「理学療法士さんと体操しよう」 講師：リハビリテーションセンター職員	リハビリ テーション センター	12
H30. 10. 14(日) 10:00～12:30	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「子どものもっている力をひきだす工夫 ～生活の中・学校の中でできること～」 講師：リハビリテーションセンター職員	小松サン・ アビリ ティーズ	15
H30. 10. 18(木) 14:00～15:30	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「小児の炎症性腸疾患について」 講師：金沢大学附属病院 炎症性腸疾患センター長 北村 和哉	リハビリ テーション センター	5
H30. 10. 26(金) 13:30～15:30	(ピアサポーター養成講座④) 「私たちだからできること～友の会活動を通して～」 講師：全国パーキンソン病友の会 石川県支部 事務局長 日向 浩一	〃	9
H30. 10. 30(火) 14:00～16:00	(医療講演会・相談会) 循環器系疾患に関する医療講演会 「特発性拡張型心筋症、肥大型心筋症について」 講師：金沢大学医薬保健研究域・保健学系 准教授 藤野 陽	〃	19
H30. 11. 5(月) 13:30～15:30	(ピアサポーター養成講座⑤) 「心と身体のバランスにアプローチする 『自宅でもできるリラックス簡単ヨガ』」 講師：ヨガサークル Pancha 代表 松山 幸治	リハビリ テーション センター	10
H30. 11. 8(木) 14:00～16:00	(医療講演会・相談会) 血管炎症候群に関する医療講演会 「高安動脈炎、巨細胞性動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、多発血管炎性肉芽腫 症、結節性多発動脈炎、悪性関節リウマチについて」 講師：金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科 科長 川野 充弘	〃	33
H30. 11. 11(日) 10:00～12:40	(小児慢性特定疾病児童等自立支援事業) 「ママと子どもが幸せに生きるための『勇気づけ』のコツ」 講師：勇気づけ親子心理学 講師 山本 真弓	小松サン・ アビリ ティーズ	15
H30. 11. 13(火) 13:30～15:00	(難病交流会) 「薬剤師さんに聴く薬との付き合い方」 講師：わかひの薬局 薬剤師 中谷 純江	リハビリ テーション センター	9
H30. 11. 15(木) 13:30～15:30	(セルフマネジメント研修) 「いつでも、どこでも、だれでも出来る簡単ヨガ」 講師：ヨガサークル Pancha 代表 松山 幸治	南加賀 保健福祉セ ンター	4

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30. 11. 15(木) 14:00～16:30	(ピアサポーター養成講座⑥) 「難病ピア・サポートのシュミレーション ～実際の場面やケースを想像する～」 講師：富山大学人文学部 准教授 伊藤 智樹	リハビリ テーション センター	10
H30. 11. 20(火) 13:30～15:30	(セルフマネジメント研修) 「いつでも、どこでも、だれでも出来る簡単ヨガ」 講師：ヨガサークル Pancha 代表 松山 幸治	能登中部 保健福祉 センター	2
H31. 2. 16(土) 14:00～16:00	「小児がんの子どもと家族と共に」 講師：がんの子どもを守る会 ソーシャルワーカー 樋口 明子	石川県社会 福祉会館	28
合 計			259 人

(2) 難病研修会 (対象：難病患者の支援関係者)

介護支援専門員等の難病支援関係者や、将来難病患者の支援に携わる可能性のある医療・福祉系の学生が難病に関する知識を得、適切な難病患者支援が行えるようにする。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30. 6. 12(火) 9:00～10:30	(県立看護大学 社会福祉論 講義) 「難病支援の実際」について 講師：リハビリテーションセンター職員 (難病相談・支援センター職員)	石川県立 看護大学	83
H30. 7. 11(水) 13:00～14:30	(難病患者生活支援啓発普及事業) 「難病患者体験談」 講師：筋ジストロフィー患者 松原 葉子	石川県立看 護大学	83
H30. 10. 9(火) 13:00～14:30	(難病患者生活支援啓発普及事業) 「難病患者体験談」 講師：公益社団法人日本リウマチ友の会石川支部 高谷 正子、出水 陽子、向瀬 正子	専門学校ア リス学園	48
H31. 1. 18(金) 13:00～17:15	(難病ホームヘルパー養成研修) 「石川県の難病対策」 講師：県健康推進課職員 「難病相談・支援センターについて」 講師：難病相談・支援センター職員 「神経難病の理解」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 医師 柴田修太郎 「在宅難病患者への看護」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 認定難病看護師 村上 婦美 「難病患者さんと家族への精神的支援」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 ソーシャルワーカー 吉田 力	リハビリ テーション センター	20
合 計			234 人

(3) ボランティア育成研修会

病気を理解し、難病患者に対する話し相手や応援等ができるボランティアを育成する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会場	参加者数
H30. 4. 22(日) 9:00～17:00	「脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の方への対応のポイント ～車椅子の介助方法について～」 講師：リハビリテーションセンター職員 (難病相談・支援センター職員)	リハビリテーションセンター のとじま水族館 能登食祭市場	6
合計			6人

4 連携会議

関係機関同士で情報交換を行い、互いの連携を図る。

① 難病患者団体等連絡会

実施年月日	連絡会テーマ	会場	参加者数
H30. 5. 22(火) 13:30～15:30	平成30年度 難病関連事業計画、各患者会活動計画について	リハビリテーションセンター	14
H30. 7. 19(木) 14:00～16:00	防災学習会 「難病・小児慢性特定疾病患者及び家族が災害に備えるということ」 講師： 防災士 北村 秀夫	〃	15
合計			29人

② 難病事業にかかる県拠点病院との連携

県拠点病院である金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、医王病院に難病事業の周知を行った。特に、神経難病拠点病院である医王病院とは年度当初に事業打合せを行い、連携強化を図った。

③ 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業にかかる関係機関との連携

小児慢性特定疾病児童が多く受診する医療機関等（19機関）に対し、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について広く周知を行った。

5 職員派遣

患者会等からの要望に応じ、講義や実技、交流会等の活動支援を行う。

実施年月日	内容	会場	参加者数
H30.4.14(土) 10:00~12:30	いしかわSCD友の会 2018年度総会 (SCD:脊髄小脳変性症)	リハビリテーションセンター	17
H30.4.22(日) 9:00~17:00	いしかわSCD友の会交流会「日帰りバス旅行」	のとじま水族館 能登食祭市場	14
H30.4.22(日) 13:00~16:00	石川県OPLL友の会 第17回定期総会・医療講演会(OPLL:後縦靭帯骨化症)	金沢市近江町 交流プラザ	30
H30.5.13.(日) 14:00~15:30	北陸リウマチ膠原病支援ネットワークサポーター会議	第1生命ビル ヴィサージュ	16
H30.6.17(日) 13:00~15:30	公益社団法人日本リウマチ友の会 第47回石川支部大会・医療講演会	金沢市松ヶ枝 福祉館	40
H30.9.11(火) 14:00~16:00	後縦靭帯骨化症等患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	南加賀保健 福祉センター	15
H30.9.22(土) 12:00~16:15	パーキンソン病友の会第4回運動を楽しむ会	金沢市障害者 高齢者体育館	51
H30.10.6(土) 13:30~15:30	石川県OPLL友の会能登地区患者家族交流会	七尾サンライフ プラザ	13
H30.10.14(日) 13:30~15:30	いしかわIBD結の会公開交流会 (IBD:炎症性腸疾患)	金沢大学附属病院 CPDセンター	20
H30.10.31(水) 14:00~16:15	(能登中部保健福祉センター患者家族交流会) パーキンソン病関連疾患患者・家族のつどい 講師:リハビリテーションセンター職員	能登中部保健 福祉センター	11
H30.11.25(日) 13:00~16:00	第13回北陸リウマチ膠原病支援ネットワークの集い	ANA クラウンプ ラザホテル金沢	80
H30.12.1(土) 13:30~16:00	もやもや病の患者と家族の会学習会	県地場産業振 興センター	18
合計			325人

6 啓発・普及

難病や小児慢性特定疾病の患者や家族に対して、当センターや地域の保健所の活動及び患者会情報を適切な時期に的確に情報提供する。

難病医療費受給者へ事業案内のチラシを作成し、配布。(難病9,000部、小児慢性1,000部)

IV 高次脳機能障害相談・支援センターの状況

1 高次脳機能障害相談

脳血管障害や交通事故等で脳に損傷を負い、注意障害、記憶障害等の症状により社会適応が困難となった高次脳機能障害者や家族の日常生活や就労、就学等に関する相談に応じ、不安の軽減を図る。

電 話	面 接	メール等	家庭訪問	合計(実人数)
606	279	116	63	1,064(133)人

2 高次脳機能障害者及び家族を対象にした教室

(1) 生活支援教室

グループプログラムを通し自身の障害について理解を深め、家庭生活の自立や社会参加に向けて必要な代替手段を獲得する。

実施年月日	内 容	会 場	回数	参加人数 (のべ人数)
毎週水曜日 9:30～12:00	・体調チェック、体操、ゲーム ・障害や生活習慣等テーマを決めて学習 ・認知課題に取り組み、グループで話し合い	リハビリテーション センター、ほっと あんしんの家	46回	7(117)人

(2) 就労者のつどい

当事者同士が就労の中で生じる悩みを語り合い、精神的な安定を図る

実施年月日	内 容	会 場	参加 者数
H30.7.14(土) 13:30～16:20	・近況報告 ・レクリエーション(ボードゲーム) ・座談会(仕事は楽しいか、困り事はあるか、 相談できる人がいるか)	リハビリテーション センター、ほっと あんしんの家	6
H30.12.1(土) 13:30～16:20	・近況報告 ・石川障害者職業センターの紹介 ・座談会(休日の楽しみ、今の仕事の満足度、 やりたいこと、今後のつどいについて)	〃	5
合 計			11人

(3) 講 座

本人・家族が高次脳機能障害を理解し、適切に対応することで生活の質を高める。
また、参加者同士の交流も図る。

実施年月日	内 容	会 場	参加 者数
H30.7.6(金) 13:30～15:30	(第1回) 講義「障害の理解と対応について」 講師：リハビリテーションセンター作業療法士 座談会	リハビリ テーション センター	11
H30.10.2(火) 13:30～15:30	(第2回) 講義「利用できる社会資源について」 講師：リハビリテーションセンター保健師 座談会	〃	7

(2) 他機関主催分（講師協力）

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30.7.4（水） 16:30～16:45	（平成30年度精神保健福祉医療担当者研修会） 講義「石川県高次脳機能障害相談・支援センターの紹介」 講師：リハビリテーションセンター 保健師	こころの健康センター	89
H30.8.23（木） 10:15～11:05	（平成30年度障害者相談支援従事者研修（現任研修）） 講義「リハビリテーションセンターの取組み ～高次脳機能障害者への支援を中心に～」 講師：リハビリテーションセンター 保健師	金沢流通会館	97
合 計			186人

4 高次脳機能障害普及啓発

(1) 普及啓発講演会

一般県民向けの講演会の実施により、高次脳機能障害に関する知識の普及を図る。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30.9.9（日） 13:30～15:30	（普及啓発講演） 第1部 講演「脳は回復する ～高次脳機能障害からの脱出～」 講師：文筆業 鈴木 大介 第2部 対談「高次脳機能障害者の就労について」 対談者：鈴木大介、当事者3名	リハビリテーションセンター	100
H30.11.18（日） 13:30～16:00 *高次脳機能障害患者と家族の会つばさと共催	（石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会） 第1部 講演「高次脳機能障害者との上手な付き合い方 ～子どもから高齢者まで～」 講師：高次脳機能障害専門クリニック はしもとクリニック経堂 院長 橋本 圭司 第2部 フリートーク 「高次脳機能障害について疑問・ご意見にお答えします」 助言者：はしもとクリニック経堂 院長 橋本 圭司	〃	121
合 計			221人

(2) 情報発信

リーフレットによる情報発信を行い、高次脳機能障害への理解と知識の普及を図る。

5 高次脳機能障害支援関係者連絡会

高次脳機能障害者の社会参加の促進に向け、昨年度に引き続き、医療機関での対応の現状を把握し、支援上の課題や連携方法について検討する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30. 6. 12(火) 14:30～15:50	医療機関における高次脳機能障害者への対応状況や課題の聞き取り及びセンターの事業紹介	やわたメディカルセンター	4
H30. 6. 18(月) 16:40～17:40	〃	恵寿総合病院	4
H30. 6. 20(水) 16:40～17:10	〃	済生会金沢病院	40
H30. 6. 21(木) 17:00～18:00	〃	公立つるぎ病院	10
H30. 6. 22(金) 16:10～17:00	〃	金沢赤十字病院	14
H30. 7. 9 (月) 16:00～17:15	〃	加賀市医療センター	17
H30. 12. 14(金) 12:50～13:35	〃	市立輪島病院	28
H30. 12. 14(金) 14:45～15:40	〃	珠洲市総合病院	7
H31. 3. 7 (木) 16:30～17:30	〃	金沢医療センター	24
合 計			148 人

6 医療機関実態調査

高次脳機能障害者・家族への支援の充実を目指し、いしかわ障害者プランに反映させるための実態調査を実施する。

7 患者・家族会支援

高次脳機能障害患者と家族の会つばさの円滑な運営及び活動を支援する。

実施年月日	研修会テーマ及び講師	会 場	参加者数
H30. 7. 12(木) 15:00～16:30	第1回実行委員会 ・プログラムの検討、講師選定、役割分担	リハビリテーションセンター	5
H30. 9. 20(木) 15:00～16:15	第2回実行委員会 ・講師スケジュールの確認、当日役割分担 ・関係機関との連絡状況確認	〃	6
H30. 11. 9(金) 15:00～16:15	第3回実行委員会 ・講習会資料、会場設営について確認 ・当日の流れ最終確認	〃	9
合 計			20 人